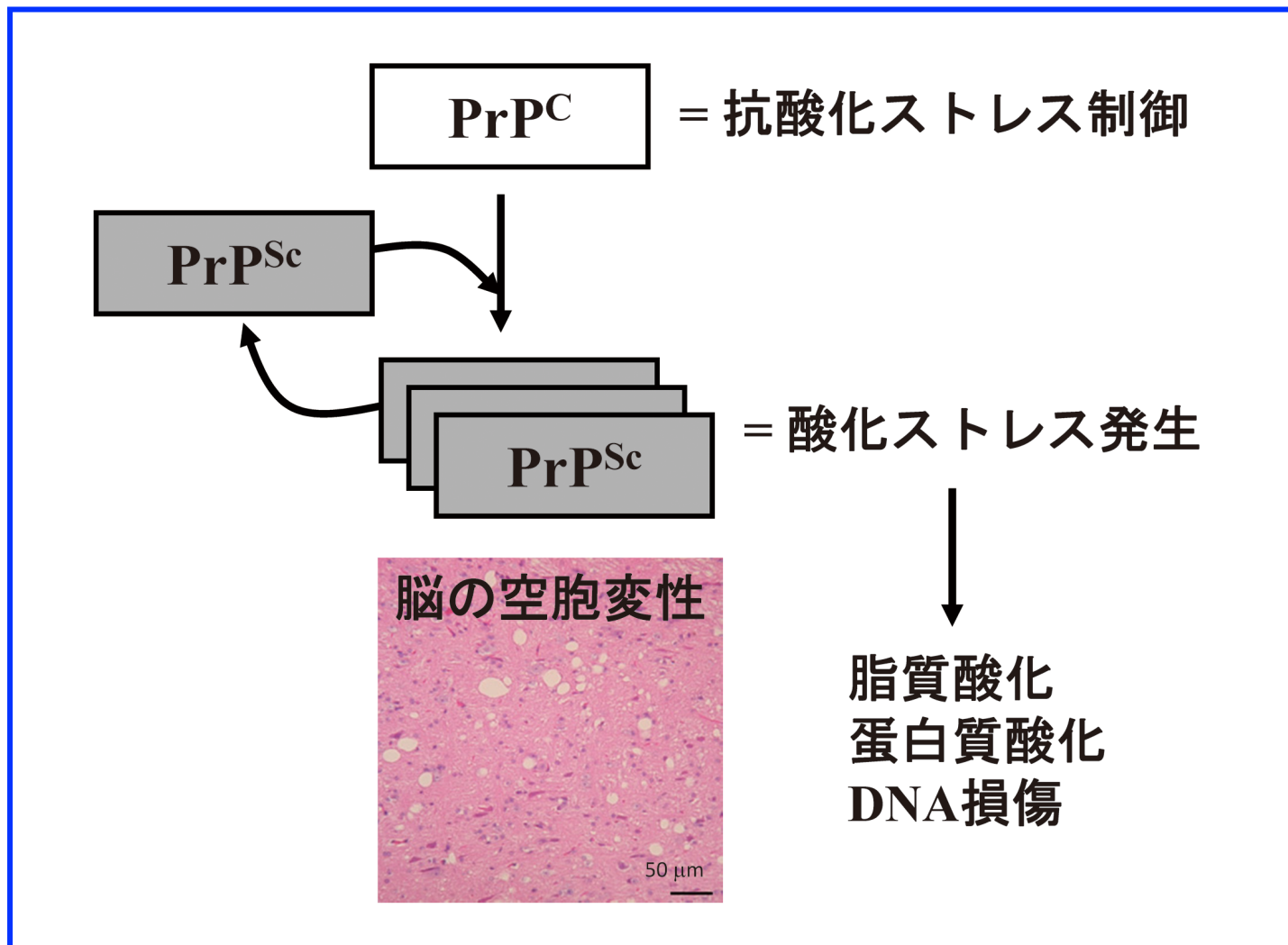


プリオン病発症メカニズムの解析:酸化ストレスの関与

研究分担者:琉球大学医学部 作道章一



解説

1. 正常型プリオン蛋白質(PrP^C)は神経細胞やグリア細胞など広範な種類の細胞において、抗酸化ストレス制御に関与している。
2. プリオンに感染すると、早期に脂質酸化(ヘキサノイルリジン、4-ヒドロキシ-2-ノネナール)、糖酸化(メチルグリオキザール)、蛋白質酸化(ジチロシン、ニトロ化チロシン)、DNA損傷(8-ヒドロキシ-2'-デオキシグアノシン)が増加する。また、異常型プリオン蛋白質(PrP^{Sc})も蓄積する。